

平成 30 年度 第 2 回安曇野市歯科口腔保健部会 会議概要

1	会議名	安曇野市歯科口腔保健部会
2	日時	平成 31 年 1 月 29 日 午後 7 時 00 分から午後 9 時 00 分まで
3	会場	本庁舎 305 会議室
4	出席者	佐野委員、堀内委員、飯嶋委員、寺島委員、出井委員、丸山委員、細萱委員、山田委員
	欠席者	なし
5	担当課出席者	高橋部長 介護保険課 中澤係長、酒井保健師、太田歯科衛生士 福祉課 高橋係長、健康推進課 古畑課長、中澤センター長、 白山歯科衛生士、石川歯科衛生士、芝原歯科衛生士
6	公開・非公開の別	公開
7	会議概要作成年月日	平成 31 年 1 月 31 日
協 議 事 項 等		
1	会議の概要	
	( 1 ) 開会	
	( 2 ) 会長あいさつ	
	( 3 ) 保健医療部長あいさつ	
	( 4 ) 協議事項	
	平成 30 年度歯科保健事業中間報告について	
	平成 31 年度歯科保健事業計画（案）について	
	「力を入れて取り組んでいる活動・事業」等について」	
	その他	
	・障がい児者の歯科相談窓口について	
	( 5 ) 閉会	
2	協議事項の概要	
	平成 30 年度歯科保健事業中間報告について	
	【主な意見】	
	(委 員)	
	・健康推進課の( 4 ) 歯肉の状態について	
	進行した歯周病とは 6 mm 以上ではないか。	
	(事務局)	
	・進行した歯周病の定義が曖昧なため、「要精検になる 4 mm 以上のポケット」に修正する。	
	(委 員)	
	・妊婦歯科健診の受診率が低い。受診者によっては、痛みがある場合は健診ではなく、治療となるケースもあるが、数としては少ない。	
	妊婦によっては受診時期が遅く、治療前に出産となる場合もあるので、早めに受診してもらいたい。受診率向上のためにどのようにしていくのか。	
	(事務局)	
	・母子健診等での声かけや母子手帳交付時に受診勧奨をしている。今後は妊婦歯科健診のチラシに「できるだけ早めに歯科健診受診を」を付け加える。	

(委員)

・成人歯科健診の精密検査依頼書の回収率はどれくらいか。

(事務局)

・約 30%

(委員)

・妊婦歯科健診の対象者は。

(事務局)

・約 600 人。月によって届出者数の変動はあるが、経年では交付数が減少傾向にある。

平成 30 年度歯科保健事業計画について

【主な意見】

特になし

「力を入れて取り組んでいる活動・事業」等について

(委員)

・歯科医師会として、年 2 回イベントを実施している。

・今後の希望としては、近隣市で受動喫煙防止に関する条例制定が検討されているので、安曇野市も条例等を検討して欲しい。

(委員)

・出前講座を実施した。受講者の方はいつも熱心に聞いてくれる。啓発活動をしていくことが大切だと感じている。

・介護保険課事業の「お口いきいきアップ教室」の参加者数は。

(事務局)

・毎回、ほぼ定員に達している。

(委員)

・楽しみながら教室に参加できるのでとても良いと思う。健康維持に関することに興味を持つ市民が増えていると思う。定期受診にもつながると思う。

(委員)

・歯科医師会の出前講座の依頼団体はどのような団体か。

(委員)

・栄養士会や医療関係団体などから依頼があった。内容は様々なジャンルがあり、1 時間から 1 時間半程度で実施している。

(部会長)

・乳幼児健診や成人歯科健診、学校歯科健診で診る基準をそろえるために、歯科医師会内で研修会を行っている。

・こども病院から歯科健診の依頼があり、県の歯科医師会などと今後検討していきたい。

(委員)

・秋から義歯の新製を行うようになり、病院とかかりつけ歯科医・内科医と連携をとることが多くなったと感じるが、口の中に関心がない方に対する連携のとり方が課題と感じる。  
・歯科衛生士として病棟で口腔ケアに入る機会が増え、看護師から相談を受け、受診に繋がっている。また、口腔ケアが浸透してきたと感じる。

(委員)

・穂高悠生寮では、年1回の歯科健診や定期受診、年9回の歯みがき指導を実施し、こまめに口腔内をチェックしてもらうようにしている。  
・今年度は職員の技術向上のために、研修会を実施した。  
・課題としては、利用者の心身の変化や職員のサポート体制によって口腔ケアが十分にできないことがある。また、通所の方は治療の機会が少なかったり、家庭での口腔ケアが十分に行われないうちがある。

(委員)

・訪問看護は週1～2回程度の訪問のため、口腔ケアまでは難しいことがあるが、看護師がみて、口腔内が不衛生だったり、入れ歯が必要な場合は、ケアマネジャーを通して往診など、受診勧奨をしている。  
・嚥下機能が低下している方には嚥下体操や発声練習実施したり、口腔ケアについての研修会に参加している。

(事務局)

・往診等、受診勧奨の参考として、「安曇野市 医療と介護の連携マップ」に歯科医院の掲載、往診の有無が載っているので活用してほしい。

(委員)

・歯科衛生士会の立場から、安曇野市は県の中で歯科の先進地として認識されている。  
・各健診での歯科相談、園児・児童等の歯科指導や在宅療養の方の訪問など分野が広い中で日々学びながら対応をしている。「お口いきいきアップ教室」で市から長野県歯科衛生士会に依頼を受けて実施している。今後も力を入れて取り組んでいきたい。  
・課題は歯科衛生士の資質の向上。また、「お口いきいきアップ教室」の終了者が学んだことを継続しなければ、元の状態に戻ってしまうことがあるため、教室の復習会等が必要だと思っている。

(委員)

・健康づくり推進員は、行政だけでは難しい部分の役割を担っていると思っている。  
・地区活動 83 区の中で健康講座を推進員が中心となり行っているが、健康づくりには食事(栄

養)や体操、歯科などいろんな分野がある。地区によっては活動回数に差があることもある。その中で、歯科の話や健康に関する情報を提供できるようにすることが課題。